

# ワクチン接種費用助成(無料)のお知らせ



平成23年度に引き続き、下記ワクチンの接種費用助成(無料)を実施しています。  
接種を希望される方は町内の指定医療機関で接種してください。

■助成期限 平成25年3月31日

## ■対象者・接種回数等

**ヒブワクチン**  
**対象者** 生後2か月～4歳の乳幼児  
**接種回数** 1～4回(接種を開始する年齢によって異なります)

**小児用肺炎球菌ワクチン**  
**対象者** 生後2か月～4歳の乳幼児  
**接種回数** 1～4回(接種を開始する年齢によって異なります)

**子宮頸がん予防ワクチン**  
**対象者** ○中学1年～高校3年の女子(H6.4.2生～H12.4.1生)  
 ○平成24年3月末までに1回目以上を接種している高校卒業後2年未満の女子(残り回数が助成対象になります)  
**接種回数** 3回(標準は6か月間に3回です。)  
 ワクチンは2種類(製品名「サーバリックス」または「ガーダシル」)があり、接種スケジュールが異なります。

## ■接種方法・注意事項

1. 町内の指定医療機関での個別接種になります。配付している受診券を医療機関の窓口で提示してください。(平成24年3月31日有効期限の受診券も、引き続きご使用いただけます)
2. ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの接種には母子手帳もご持参ください。
3. 定められた必要回数以上の助成はありません。

### ◆問い合わせ先

保健センター

☎62 6574 有線⑤ 7777

## 綿向雑感

日野町長 藤澤直広

もたち東京都国立市立国立第二中学校の3年生191人がバス五台を連ね修学旅行にやってきました。朝9時前に東京駅を出発し新幹線で名古屋駅、新名神で昼には日野町に到着。これまで岩手県花巻市に行っていたけれど、原発事故の影響で日野町になったそうです。「入村式」の後、子どもたちは初対面の緊張感を持ちつつ各家庭へ。そして、まる一日が過ぎ「離村式」では和やかな雰囲気。あるグループは、緑の麦を数本、新聞紙にくるんで大切に持っていました。「田植え機で田植えしたよ」「タケノコ堀りをしたよ」と弾んだ声が聞こえてきます。校長先生は「生徒たちの眼がイキイキと輝いています」と満足そう。その後、京都へ向かうバスを見送りました。

初夏の風に、黄色く色づいた麦が揺れています。もうすぐ刈り取りです。ひと月前、麦が緑色だったころ、今年初めての子ども

町に修学旅行で子どもたちがやってくるなど、数年前まで思いもよらないことでした。携帯電話やパソコンを介せず直接人と触れ合い、風の薫り、草の匂い、泥の感触を知ることが体験することが子どもたちに新鮮な感動を与えます。「離村式」で涙を浮かべる子どもたち、田舎体験には現代社会が求めるものがあります。田舎にはある「人々が助け合って生きる温かい社会」を再構築するために力を合わせましょう。

ところで、その日の新聞に「コンプガチャ廃止へ」という記事がでていました。「コンプガチャって何？」初めて見る言葉に記事を読むと、携帯電話などで遊ぶ有料ゲームのことで、射(し)幸(こう)心(こころ)を夢中になり、ついつい高額な料金を請求がされるといふことで消費者庁の指摘を受け廃止になりました。携帯電話はとも便利ですが、架空の世界のゲームに子どもたちが夢中になることに少し疑問を感じます。「ゲーム」とは「遊ぶ」こと。子どもたちが体を動かして、友達とぶつかり合い遊ぶなかで体力が発達し、ルールや気づかいを覚え成長してゆきます。日野町に修学旅行で子どもたちがやってくるなど、数年前まで思いもよらないことでした。携帯電話やパソコンを介せず直接人と触れ合い、風の薫り、草の匂い、泥の感触を知ることが体験することが子どもたちに新鮮な感動を与えます。「離村式」で涙を浮かべる子どもたち、田舎体験には現代社会が求めるものがあります。田舎にはある「人々が助け合って生きる温かい社会」を再構築するために力を合わせましょう。